

令和5年度16か月型・骨格予算の主な事業

(参考資料)

徳 島 県

目 次

	頁
1 「ポストコロナ新時代」に向けた先行的取組みの推進	
■ 「大阪・関西万博」に向けた魅力発信と販路拡大	
(1) 2025年大阪・関西万博に向けた取組みの推進	1
⑨ 大阪・関西万博とくしまパビリオン整備事業	
大阪・関西万博挙県一致体制推進事業	
(2) 大阪・関西万博から放つ！農林水産物の輝く魅力発信	2
⑨ 万博に向けた「徳島の食」利用強化・拡大事業	
⑨ 県産木材レガシー継承事業	
⑨ 養殖業の成長産業化推進事業	
県産畜産物の供給・販路拡大	
■ 「夢の架け橋」！大鳴門橋自転車道の設置	
(3) サイクルツーリズムの推進に向けた大鳴門橋の活用	3
⑨ 大鳴門橋自転車道設置事業	
(4) 自転車でひろがる「人・まちづくり」の推進	4
自転車でひろがる「人・まちづくり」プロジェクト	
■ 「ダイバーシティ」モデルの創出	
(5) 未知を切り拓く、新時代「ダイバーシティとくしま」の実現	5
新時代対応！国府支援学校整備事業	
新時代「特別支援学校SDGs」創出事業	
特別支援教育「地域まるごと専門性向上」事業	
発達障がい「つながる・ひろがる・はばたく」充実事業	
(6) 障がい者スポーツ・芸術文化活動の振興	6
障がい者スポーツ交流支援事業	
次世代パラアスリート発掘・育成事業	
とくしま共生アートプロジェクト推進事業	
(7) 障がい者の就労促進支援	7
障がい者いきいき活躍就労促進事業	
とくしま農福連携ネットワーク加速化事業	

■新たな産業創出と市場開拓

- (8) 中小企業者等への円滑な「資金繰り」支援 8
 ⑧ 中小企業振興資金貸付金・GXとくしま推進資金の創設
- (9) ものづくり企業におけるGX・DX導入促進 9
 ものづくり企業GX推進事業
- (10) 「みどり戦略実践産地」創出に向けた支援策の展開 10
 とくしまグリーン栽培転換支援事業
 有機農業等産地拡大加速化事業
 勝ち抜く！園芸産地強靱化事業
- (11) 「海外ビジネス展開を加速！」～活力ある地域経済を実現～ 11
 とくしま戦略的輸出拡大サポート事業
 ものづくり企業海外展開支援事業
 とくしま海外展開支援プラットフォーム事業
- (12) 世界の食市場に躍進！農林水産物の輸出拡大戦略 12
 販売ルートを「より太い幹」へ
 「輸出型産地」の育成
 海外市場の開拓に取り組む「人材の育成」

■コロナ・物価高騰への対応と備え

- (13) 中小企業者等への円滑な「資金繰り」支援【P.8再掲】
 中小企業振興資金貸付金
 伴走支援・借換による経営力強化推進費補助金
 中小企業金融円滑化推進費
 新型コロナウイルス感染症対応資金利子補給事業
- (14) 電気料金及び燃料費の価格高騰に対する土地改良区等への支援 13
 ⑧ 農業水利施設 省エネルギー化推進事業

2 県土強靱化をはじめ県民の安心・安全の確保

■災害対応拠点の機能強化

- (15) 東部防災館による「安全・安心・にぎわい」の創出 14
 ⑨ 東部防災館管理運営事業
- (16) 「四国の右下」の強みを活かした新しい地域づくり 15
 ⑨ 南部総合県民局美波庁舎防災機能強化事業

■地域脱炭素化と防災力の向上

- (17) 「グリーン社会」実現への「地域脱炭素」の展開 16
 県有施設・自家消費型太陽光発電率先導入事業
 自然エネルギー・地域マイクログリッド導入促進事業
 ⑨ とくしまGX推進計画策定事業
- (18) 燃油高対策！工業用水道・動力費の低減 17
 ⑨ 燃油高対策！工業用水道・動力費低減事業
- (19) とくしま産！再生可能エネルギーの導入促進 18
 ⑨ とくしま産！再生可能エネルギー導入促進事業

■消費者行政・消費者教育「徳島モデル」の飛躍

- (20) SDGs達成に向けた「消費者行政・消費者教育」の飛躍 19
 ⑨ 未来を拓く！徳島発信SDGsアクションプロジェクト
- (21) 「消費者政策の国際拠点・徳島」の実現 20
 世界へ発信！消費者政策「国際拠点化」推進事業
 世界とつながる！消費者行政・消費者教育国際連携ネットワーク強化事業
 世界の架け橋へ！とくしま消費者政策グローバル化推進事業

■家畜防疫体制の更なる強化

- (22) 畜産振興に向けた「家畜防疫拠点」の整備推進 21
 家畜保健衛生所再編整備事業

■安心・安全な地域づくり

- (23) 生活困窮者に対する支援の充実 22
 ⑨ 生活困窮者「徳島SDGs支援体制」推進事業
 生活困窮者自立支援事業
 ⑨ こどもの健全育成支援事業
- (24) IoTでつなげる！野生鳥獣の捕獲強化と利活用推進 23
 ⑨ IoTで「猪・鹿・猿」見える化事業
 活かせ多様な人材！鳥獣捕獲強化事業

■健康長寿とくしまの推進

- (25) 人生100年時代へ！「健康寿命延伸」に向けた生活習慣病対策の加速 24
 ⑨ 脳卒中・心臓病等総合支援センター事業
 とくしま健康ポイント推進事業
- (26) 地域介護の総合的な確保に向けた取組み 25
 地域介護総合確保施設整備事業
 地域介護・福祉空間整備等施設整備事業
 地域介護総合確保推進事業

3 デジタル田園都市「徳島」の実装に向けた切れ目ない対策

○「こどもまんなか社会」の実現

■結婚、妊娠・出産、子育てまでの切れ目のない支援

- (27) 一人ひとりに寄り添った結婚支援の加速 26
 - とくしま結婚支援プロジェクト加速化事業
- (28) 不妊・不育に対する支援の充実 27
 - こうのとりに応援事業
- (29) 小児救急医療提供体制の確保 28
 - 小児医療相談事業
 - 小児救急医療拠点病院運営支援事業
- (30) 未来へ繋ぐ！保育現場サポートプロジェクト 29
 - ㊦ 保育環境向上支援事業
 - とくしま子育てはぐくみ応援推進交付金事業
 - 保育士養成施設に対する就職促進支援事業
 - 保育士試験対策講座実施事業
- (31) こども、子育て支援体制の充実 30
 - 安心こども基金積立金
 - ㊦ こども家庭見守り緊急対策事業

■こどもが健やかに成長できる環境づくり

- (32) 児童相談所のデジタル化による体制強化 31
 - ㊦ 児童相談所DXプロジェクト
- (33) こども未来応援プランの推進 32
 - こども未来応援プラン推進事業
- (34) こどもの「居場所づくり」の加速化 33
 - ㊦ ひろがれ！こどもの居場所応援事業
- (35) ヤングケアラー支援体制の構築 34
 - ㊦ ヤングケアラー支援体制構築事業
- (36) ヤングケアラーの解消に向けた支援の強化 35
 - ㊦ つなぐヤングケアラー等支援事業
- (37) 困難な事案に直面した児童生徒への支援体制の強化 36
 - ㊦ 徳島こどもサポートネット事業

■安心・安全で快適な教育環境の整備

- (38) 県立高校「民活エアコン」の県負担による「快適な教育環境」の整備 37
 - ㊦ 県立高校空調設備整備事業
- (39) 高校と地域を魅力化！未来へつなぐ総合寄宿舎の整備 38
 - 総合寄宿舎（阿南寮）増設事業
 - 総合寄宿舎（三好寮）増設事業
- (40) 「すべての児童生徒に学びの保障を！」学校教育活動の支援 39
 - 学びの保障のための学校教育活動事業
 - 教員業務支援員配置促進事業
- (41) 大阪・関西万博に向けた英語発信力のパワーアップ 40
 - ㊦ World EXPO×とくしま発信プロジェクト事業

■ G I G Aスクール構想の更なる展開

- (42) G I G Aスクール構想の着実な推進と教育D Xの加速 41
徳島県G I G Aスクール構想推進事業
G I G Aスクール運営支援センター整備事業
⑨ G I G Aスクールサポート人材配置事業
教育データ利活用推進事業

■ 部活動の地域移行に向けた環境整備

- (43) 中学校における部活動の地域移行等に向けた環境整備 42
⑨ 部活動の地域移行に向けた実証事業
あわっ子部活動サポート事業
(44) 高校スポーツの強化による競技力向上の推進 43
⑨ とくしま競技力向上指定校事業

○「とくしま回帰」の加速

■ 新たな文化芸術・スポーツ拠点の整備

- (45) 徳島文化芸術ホール(仮称)の整備 44
新ホール整備事業
(46) J R牟岐線への新駅設置 45
新駅設置事業
(47) 未来につなぐ都市公園の整備 46
鳴門総合運動公園整備事業(オロナミンC球場改築事業)

■ 地方大学・地域産業の創生

- (48) 「次世代光」による地方大学・地域産業創生の加速 47
⑨ 「次世代光」による地方大学・地域産業創生加速化事業

■ 徳島の強みを活かした成長産業の立地促進

- (49) 戦略的企業誘致と県外企業の地方拠点立地の促進 48
企業立地促進事業費補助金
情報通信関連事業立地促進費補助金
(50) 活力・魅力あふれる港湾整備の推進 49
徳島小松島港津田地区活性化整備事業
(51) 「徳島・にし阿波」の地域資源を活かした地域づくり 50
⑨ 「徳島・にし阿波」フレキシブルワーク体験・移住交流促進事業

■ デジタル社会の基盤づくり

- (52) マイナンバーカードの普及拡大 51
 ⑨ マイナンバーカード普及拡大！出張申請受付・サポート事業
 マイナンバーカード取得加速！徳島県版プレミアムポイント事業
- (53) 先端技術等の活用による警察活動の更なる高度化・合理化 52
 ⑨ 警察行政手続のデジタル化推進事業
 ⑨ 先端技術導入による業務の高度化・合理化事業

■ 経済好循環とくしまづくり

- (54) ものづくり企業におけるGX・DX導入促進【P.9再掲】
 ものづくり企業GX推進事業
 ものづくり企業DX加速化事業
- (55) 首都圏における「とくしまブランド」の販売拡大・強化 53
 とくしまブランド新商流構築事業
- (56) 県産材回帰による林業・木材産業の強化 54
 県産木材競争力強化対策事業
 木造建築活性化事業
 木づかい県民運動定着事業
- (57) IOTでつなげる！野生鳥獣の捕獲強化と利活用推進【P.23再掲】
 「阿波地美栄」魅力発信・消費拡大^ハワーアップ[°]事業

■ 観光誘客の推進

- (58) 「阿波おどり」を最大限活用した誘客促進 55
 世界最高の情熱！阿波おどり体感事業（春・夏）
- (59) DMVの魅力を世界に「はっしん」 56
 ⑨ もっと・ずっと大好き DMVはっしん！事業
- (60) 「四国の右下」の強みを活かした新しい地域づくり【P.15再掲】
 万博を見据えた「四国の右下」サステナブル観光強化事業
- (61) 「徳島・にし阿波」の地域資源を活かした地域づくり【P.50再掲】
 「徳島・にし阿波」桃源郷魅力強化事業
 世界が注目！「世界農業遺産」魅力発信事業

■ 次代の担い手確保

- (62) 未来へつなぐ！農林水産業「人材育成」の新展開 57
 アカデミーにおける次代を担う人材の育成
 ニーズに即応したスマート人材・エキスパート人材の育成
 ⑨ 未来の担い手となる人材の育成
- (63) 未来へはばたけ！新たな「農業人材」確保策の展開 58
 新規就農者育成総合対策事業
 次代を担う農業人材・経営体育成事業
 「農作業シェア」で健康増進！労働力支援モデル創出事業
- (64) 「四国の右下」の強みを活かした新しい地域づくり【P.15再掲】
 きゅうりタウンから広がる多様な人材発掘支援事業

2025年大阪・関西万博に向けた取組みの推進



【令和5年度当初予算額 79,980千円】

1 目的

大阪・関西万博に向け、徳島県のコンセプト「万博は『ゲートウェイ』、徳島『まるごとパビリオン』～県民が参画し、県民が創る万博～」を具現化するため、万博会場の「関西パビリオン」内に設ける「徳島パビリオン」の整備を進めるとともに、開幕に先行した情報発信に取り組むなど、万博への機運を一段と高め、徳島への「新たな人の流れ」の創出につなげる。

2 事業内容

(1) ① 大阪・関西万博とくしまパビリオン整備事業 25,000千円

徳島の「強みや魅力」を国内外へ発信する「徳島パビリオン」を万博会場に整備し、本県への「人の流れ」を呼び込む「ゲートウェイ（玄関口）」とするため、関西広域連合による施工スケジュールに対応しながら、展示コンテンツの内容・仕様等に関する基本設計を行う。

(2) 大阪・関西万博挙県一致体制推進事業 54,980千円

万博において本県のコンセプトを具現化するため、「『大阪・関西万博』とくしま挙県一致協議会」のもと、徳島「まるごとパビリオン」のラインナップ構築等を進めるとともに、本県の万博に向けた取組みを県内外へ積極的に発信する。
また、「関西パビリオン」の設計・施工等に各府県が一体となって取り組む。



徳島「まるごとパビリオン」

大阪・関西万博から放つ！農林水産物の輝く魅力発信



【令和5年度当初予算額 185,300千円】

- | | | |
|---|---------|---|
| 1 | 目 的 | 2025年「大阪・関西万博」を契機として、本県農林水産物の販路拡大はもとより、徳島への新たな「人の流れ」と「万博需要」を創出するため、体験や体感を重視した本県農林水産物の更なる魅力発信とともに、徳島の誇る「食」を売りにしたブランディング強化を展開する。 |
| 2 | 事 業 内 容 | <p>(1) 新万博に向けた「徳島の食」利用強化・拡大事業 22,500千円</p> <p>「大阪・関西万博」に向けて、「食べに行きたい徳島」の創出に繋げるため、首都圏大規模イベントとの新たな連携による「出張マルシェ」の展開や国内外で新たなブームを巻き起こす「新グルメ」の開発を行う。</p> <p>(2) 新 県産木材レガシー継承事業 GX 6,000千円</p> <p>東京オリ・パラでの取組を継承し、さらなる県産木材需要に繋げるため、国内外の「大阪・関西万博」出展企業と県内企業とのマッチングや大都市圏での展示商談会への出展などにより徳島すぎブランドの認知度を高め、新たな万博需要の喚起や販路開拓・需要拡大を図る。</p> <p>(3) 新 養殖業の成長産業化推進事業 1,000千円</p> <p>「大阪・関西万博」を通じて創出される水産物需要を確実に捉えるため、本県で陸上養殖される「アメゴ種苗」を海面で生食可能な大型サイズに育成したサーモン的一种「サツキマス」について、養殖業者と連携し、県内外の観光客等を対象とした試食会を開催し、今後の生産や販売戦略にフィードバックする。</p> <p>(4) 県産畜産物の供給・販路拡大 DX 155,800千円</p> <p>「大阪・関西万博」を見据えた「阿波尾鶏」の生産・供給体制の強化を図るため、DXによる環境制御型の新たな「原種鶏・種鶏」の鶏舎整備を支援するとともに、「とくしま三ツ星ビーフ」の大消費地における知名度向上を図るため、関西圏の関係業者と連携したPR活動を強化する。</p> <p>新 阿波尾鶏生産・供給拡大事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「とくしま三ツ星ビーフ」販路拡大強化事業 |

2

担当：もうかるブランド推進課、畜産振興課、スマート林業課、水産振興課

サイクルツーリズムの推進に向けた大鳴門橋の活用



【令和5年度当初予算額 100,000千円】

1 目 的 サイクルツーリズムを通じた交流人口の拡大や観光振興、
 ポストコロナ新時代に対応した自転車の利用促進を図るため、
 兵庫県と連携し、四国新幹線整備までの間、
 大鳴門橋の桁下空間において、自転車道設置を推進する。

2 事業内容 **⑨ 大鳴門橋自転車道設置事業** 100,000千円

○自転車道本体の詳細設計

- ・令和4年度までの基本設計に基づき、詳細設計を実施

○事業全体の内容

- ・令和5年度 詳細設計
- ・令和6～8年度 自転車道本体の床版・防護柵の製作、設置工事
- ・令和8～9年度 「渦の道」の施設改修、設備工事
 (R5～R9継続費 2,800,000千円)

3

担当：高規格道路課

自転車でひろがる「人・まちづくり」の推進



【令和5年度当初予算額 5,000千円】

1 目的 自転車を活用した「人・まちづくり」を推進するため、サイクルスポーツの普及・促進に取り組むとともに、「2025年大阪・関西万博」や「ワールドマスターズゲームズ2027関西」、「大鳴門橋自転車道の開通」を見据え、サイクリストの裾野拡大及び受入環境の充実を図る。

2 事業内容 **自転車でひろがる「人・まちづくり」プロジェクト** 5,000千円

(1) 自転車王国とくしまビルドアップ事業

本県サイクリストの裾野拡大及び受入環境のさらなる充実を図る。

- ・自転車王国とくしま公式コースPRサイクリングイベントの実施
- ・「とくしまグルメ」ポタリングツアーの実施
- ・「サイクリングガイド」の養成

(2) 「サイクリングアイランド四国」の実現

四国各県が連携し、国内外に四国の魅力を広く発信することにより、サイクリストの誘客を促進し「交流人口の拡大」につなげる。

未知を切り拓く、新時代「ダイバーシティとくしま」の実現



【令和5年度当初予算額 2,739,388千円】

1 目的 「ダイバーシティ先導モデル」として国府支援学校の整備を進めるとともに、SDGsによる新たな取組みの創出や、医療的ケア児の社会参加支援の充実を図るなど一人一人が輝き、活躍できる「新時代の特別支援教育」を推進する。

2 事業内容 (1) **新時代対応！国府支援学校整備事業** 2,719,934千円



「国府支援学校整備事業HP」

国の新たな「特別支援学校設置基準」に即応し、プロジェクトの先駆けとなる「新校舎棟」の工事に着手するとともに、「新体育館棟」の実施設計を行う。

- 新校舎棟工事 令和5年7月～令和6年度竣工（予定）
- 新体育館棟の実施設計 令和4年10月～令和5年9月（予定）

(2) **新時代「特別支援学校SDGs」創出事業** 6,423千円



「特別支援まなびの広場HP」

「ダイバーシティとくしま」やSDGsの実現に向けた特別支援学校における新たな取組みを創出するため、企業等との協働による「地域連携イベント」や「スポーツ活動」に加え、県産野菜等を活用した「新たな6次産業化の取組み」を推進する。

(3) **特別支援教育「地域まるごと専門性向上」事業** 6,000千円

特別な支援を必要とする児童生徒や医療的ケア児の支援充実のため、教員の専門性向上に向けた研修の実施、「医療的ケア児等支援センター」と連携した医療的ケア児一人一人の社会参加支援の促進など、「サポート体制の構築」を図る。

(4) **発達障がい「つながる・ひろがる・はばたく」充実事業** 7,031千円

発達障がいのある児童生徒について、就学前から卒業後の就職まで切れ目のない支援体制を構築するため、本県独自の「ポジティブ行動支援」の深化を図るとともに、テレワークをはじめとする就労支援を推進する。

担当：特別支援教育課

障がい者スポーツ・芸術文化活動の振興



【令和5年度当初予算額 51,443千円】

1 目的 「2024年パリパラリンピック」や「2025年東京デフリンピック」、さらには「2025年大阪・関西万博」の開催に向け、共生社会の実現に向けた取組みを加速させるため、障がい者スポーツ・芸術文化活動の振興を図り、誰もが主役となって活躍できる「ダイバーシティ社会」の実現を目指す。

2 事業内容 (1) 障がい者スポーツ交流支援事業 **DX** 26,418千円

共生社会ホストタウン相手国であるジョージアのパラアスリートと県内学生との交流、障がいの有無に関わらず誰もが楽しめる「eスポーツ」を核とした大会の開催など、パラスポーツを通じた交流により、障がい者スポーツの振興を図る。

(2) 次世代パラアスリート発掘・育成事業 7,525千円

「2024年パリパラリンピック」をはじめとする国際大会への本県からの出場選手輩出に向け、障がい者スポーツ選手・団体の競技力向上に向けた支援などにより、次世代を担うパラアスリートの育成を図る。

(3) とくしま共生アートプロジェクト推進事業 17,500千円

「2025年大阪・関西万博」の開催を見据え、障がい者アートの魅力を広く発信するため、障がい者アーティストの創作活動や作品発表、舞台芸術をはじめとする表現活動の支援など、障がい者芸術文化活動の一層の振興を図る。

担当：ダイバーシティ推進課

障がい者の就労促進支援



【令和5年度当初予算額 46,800千円】

1 目的 「新型コロナウイルス感染症」拡大による受注減少の影響を踏まえ、障がい者就労支援施設の安定的生産活動を確保し、就労機会の確保による「社会参加」と工賃向上による「自立促進」を一層推進するため、就労製品の魅力向上や就労分野の多様化を支援する。

2 事業内容 **(1) 障がい者いきいき活躍就労促進事業** 20,000千円
 就労製品の販売拡大等を図るため、ブランド化や高品質化、販路の多角化を支援

- ・ ECサイト販売に対応できる新商品の開発を推進
- ・ 優れた技術を持つ「マイスター」の「ものづくり」実演による就労製品の魅力発信

(2) とくしま農福連携ネットワーク加速化事業 DX 26,800千円
 施設が取り組む農業を推進するため、生産・販売指導や農業者との連携を支援

- ・ DX活用による施設の農業等技術の向上や販路拡大を支援
- ・ 晩茶等の伝統作物、遍路宿等の地域資源などの「地域産業」との連携強化

担当：障がい福祉課

中小企業者等への円滑な「資金繰り」支援



【令和5年度当初予算額】 25,186,092千円
 【令和4年度2月補正額】 830,000千円

1 目的 コロナ禍や原油・原材料高騰の影響により、融資の返済が負担となっている中小企業者等の事業継続や経営の安定を図るとともに、成長分野への前向きな取組みを後押しするため、「中小企業向け融資制度」を通じた円滑な資金調達を支援する。

2 事業内容 (1) 中小企業振興資金貸付金 **GX** 23,233,600千円

GXに繋がる設備投資など前向きな取組みを後押しするとともに、経営安定化に繋がる金融支援を行い、中小企業者等の事業継続と持続的発展を促進する。

① 「GXとくしま推進資金」の創設

GXに繋がる設備投資等への支援を強化するため、「GXビジネス促進資金」と「自然エネルギー立県とくしま推進資金」を統合し、新たな資金を創設する。

【融資利率】：年1.50%以内 【保証料率】：年0.30%～0.85%
 【融資額】：2億8千万円以内

(2) 伴走支援・借換による経営力強化推進費補助金 830,000千円

「新型コロナウイルス感染症対応資金」の返済本格化に即応し、中小企業者等の返済負担軽減を図るため、「経営力強化伴走支援資金」における「保証料率の引き下げ」を継続実施する。

【保証料率】：年0.20%～1.15% → 年0%～0.70%

(3) 中小企業金融円滑化推進費 425,422千円

中小企業者等の信用力・担保力不足を補うための保証料負担を軽減するため、保証料引き下げ分への一部補助を行う。

(4) 新型コロナウイルス感染症対応資金利子補給事業 1,527,070千円

「新型コロナウイルス感染症対応資金」の利子補給を行う。

担当：企業支援課

ものづくり企業におけるGX・DX導入促進



【令和5年度当初予算額 16,800千円】

1 目的 本県ものづくり企業の持続的な発展を目指すため、大阪・関西万博を見据えた「グリーンテクノロジー」や「AI・5G」など先端技術の活用による「生産性の向上」や「新製品・サービスの開発」を支援することで、「ビジネスモデルの変革」や「徳島が世界に誇る製品づくり」を加速させる。

2 事業内容 (1) **ものづくり企業GX推進事業** **GX** 4,800千円

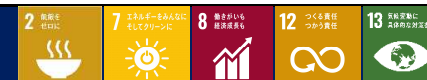
- 「ものづくり企業GX推進コンソーシアム」を通じた連携事業
 - ・異業種交流等により会員企業の連携基盤を構築
- 企業のオープンイノベーション促進
 - ・企業間マッチングを推進し、開放特許等の外部リソース活用を促進
- 「新素材活用製品」の研究開発
 - ・高等教育機関、企業、工業技術センターが連携し、CNFやバイオプラスチック等を活用した製品の研究開発を実施

(2) **ものづくり企業DX加速化事業** **DX** 12,000千円

- 「とくしまDX推進センター」を核としたDX推進
 - ・「DX推進コーディネーター」の伴走支援による円滑なDX導入の推進
 - ・セミナー開催等によるDX導入の核となる人材の育成
 - ・「5G」や「AI」などのデジタル技術を活用した研究開発の推進

担当：新未来産業課、工業技術センター

「みどり戦略実践産地」創出に向けた支援策の展開



【令和5年度当初予算額 56,000千円】

1 目的 徳島県みどりの食料システム戦略基本計画を推進するため、「エシカル農業技術」の確立と普及、地域ぐるみでの有機農業の生産から消費まで一貫した取組の支援や、スマート技術、省エネ技術の実装等を行い、園芸産地の生産力の強化、省力化を図り、持続可能な「みどり戦略実践産地」を創出する。

2 事業内容 (1) とくしまグリーン栽培転換支援事業 **DX GX** 13,000千円

化学肥料や化学農薬の使用量を低減するなど、環境に優しい生産技術を導入するため、堆肥等の有機質資源の活用による土づくり及び天敵等を活用した病虫害防除の実証や、栽培マニュアルの作成など、「グリーンな栽培体系」への転換を支援する。

(2) 有機農業等産地拡大加速化事業 **DX GX** 30,000千円

市町村、農業者、消費者等の参画による、地域ぐるみでの有機農業の産地拡大を図るため、栽培技術の実証、物流の効率化、販路拡大、学校給食での利用などを支援する。

(3) 勝ち抜く！園芸産地強靱化事業 **DX GX** 13,000千円

長引くコロナ禍や世界情勢不安の中、本県の園芸産地が勝ち抜くため「とくしまブランド推進機構」と連携し、主要な園芸品目が抱える課題の解決に向け、新たな技術導入・定着化により、「強靱な園芸産地」へのリノベーションを加速する。

- ▶ 「かんしょ」の育苗・定植作業の省力栽培体系の実装
- ▶ 「れんこん」の施肥軽減技術の実装
- ▶ 「すだち」の隔年結果対策の実装

担当：農林水産政策課、もうかるブランド推進課、経営推進課

「海外ビジネス展開を加速！」～活力ある地域経済を実現～



【令和5年度当初予算額 66,878千円】

1 目的 ポストコロナ新時代を見据え、新たな市場を獲得するため、県内中小企業が有する高い技術力を活かした新商品開発や越境ECサイトによる販路開拓など、意欲的な海外展開を積極的に支援し、中小企業の成長力と経営体質の強化を図る。

2 事業内容 **(1) とくしま戦略的輸出拡大サポート事業 20,000千円**

貿易実務の専門知識と幅広いネットワークを有する地域商社や販売店と連携の下、新たな海外市場へ向け、県産品のマッチングから商談までを一気通貫で支援する。

○海外輸出拡大サポート事業

- ・北米、豪州などの新たな市場に向けた商流構築のための伴走支援

○「多言語デジタルカタログ」事業

- ・魅力ある県産品の機能や特徴を高精細デジタルカタログ（多言語）で制作し、新規顧客へのPRや営業、商談会の販促ツールに活用

(2) ものづくり企業海外展開支援事業 2,240千円

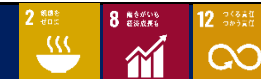
県内ものづくり企業の優れた技術やオンリーワン製品の海外販路開拓のため、市場規模が拡大し続ける越境ECを活用した販路開拓を支援する。

(3) とくしま海外展開支援プラットフォーム事業 44,638千円

ジェトロ、金融機関、地域商社や上海事務所等で構成する「とくしま海外展開支援プラットフォーム」が、現地ニーズ調査から商談までをワンストップで支援する。

- 意欲ある県内中小企業の海外展開を専門家がワンチームで支援

世界の食市場に躍進！農林水産物の輸出拡大戦略



【令和5年度当初予算額 196,360千円】

1 目的 旺盛な海外需要を取り込み、農林水産物等の輸出を更に加速するため、輸出型園地の育成、販売ルートの拡充や新市場の開拓等を展開し、事業者の所得向上と食を通じた本県PRに繋げる。

2 事業内容 **(1) 販売ルートを「より太い幹」へ** 19,760千円

県内事業者の様々な輸出に関する相談対応や、海外バイヤーとのマッチングを行う「農畜水産物等輸出サポートセンター」による県内事業者への支援を行うとともに、アジアを中心に、「なると金時」をはじめ本県が強みを持つ県産品の販路を開拓する。

- ・農畜産物海外輸出ネットワーク構築事業
- ・とくしまブランド海外プロモーション事業

(2) 「輸出型産地」の育成 3,600千円

輸出拡大の障壁である「植物検疫」や「残留農薬」の規制をクリアするためEU向け「かんきつ」の輸出園地における植物検疫検査の補助や、「海外向け栽培ガイドライン」の充実など、輸出型産地の育成を支援する。

- ・検疫クリア！輸出型園地「倍増」事業

(3) 海外市場の開拓に取り組む「人材の育成」 173,000千円

意欲ある事業者の海外展開を後押しするため、販路開拓や市場ニーズへの対応、HACCP等の認証取得や必要な施設、機器のハード整備など、きめ細やかな支援を行う。

- ・とくしま輸出バリューチェーン構築事業 【補助率】 1 / 2
- ・徳島農林水産物等の輸出力強化事業 【補助率】 定額
 - GFPグローバル産地づくり推進事業 【補助率】 定額
 - 食品産業の輸出向けHACCP等対応施設整備事業 【補助率】 1 / 2 又は 1 / 3

担当：もうかるブランド推進課

電気料金及び燃料費の価格高騰に対する土地改良区等への支援



【令和4年度2月補正額 49,000千円】

1 目的 深刻な電気料金及び燃料費の高騰が続く中、農業水利施設の省エネルギー化の促進や管理者の経済的負担を軽減することで、施設の安定的な機能発揮、さらには地域農業の持続的な発展につなげるため、国の新たな経済対策を活用し、県11月補正予算で創設した「土地改良施設・電気料金高騰対策緊急支援事業」と併せた一体的な支援を行う。

2 事業内容 **① 農業水利施設 省エネルギー化推進事業** **GX** 49,000千円

農業水利施設の省エネルギー化に取り組む、土地改良区や水利組合に対して、電気料金及び燃料費の価格高騰分の一部を支援する。

【対象】 維持管理費に占める電気料金・燃料費の割合が25%以上の土地改良区及び水利組合

【要件】 電力使用量・燃料使用量の2割削減を目指すための「省エネルギー化推進計画（R5～R7）」を策定し、実施すること。

【補助額】 令和4年度の電気料金及び燃料費の価格高騰分の70%以内(※)
※土地改良施設・電気料金高騰対策緊急支援事業（県11月補正）を含む

<参考> 土地改良施設・電気料金高騰対策緊急支援事業（県11月補正）

【対象】 農業用水を供給する揚水機などを管理する土地改良区

【要件】 「土地改良施設節電計画」を策定し、実施すること

【補助額】 「電気料金上昇単価」×「令和4年かんがい期の電力使用量」の1/2以内

東部防災館による「安全・安心・にぎわい」の創出



【令和5年度当初予算額 142,000千円】

【令和6～14年度債務負担行為設定額 1,215,000千円】

1 目的

災害時には「広域物資輸送拠点」として、県万代庁舎、徳島中央警察署、県立防災センターとともに、県下全域の防災支援ネットワークの中核となる「東部防災ゾーン」の機能強化を図り、平時には、「にぎわい拠点」として民間のノウハウを活用し、東部防災館の効果的・効率的な運営管理を行う。

2 事業内容

① 東部防災館管理運営事業

142,000千円

東部防災館において、災害時における「広域物資輸送拠点」と、平時の「にぎわい拠点」の機能を最大限に発揮させるため、指定管理者による運営管理を行うとともに、オープンに向けた環境整備等を実施する。

① 東部防災館指定管理料 【135,000千円】

○運営スキーム

- ・ 指定管理料と利用料金収入により指定管理者が運営
- ・ 指定管理期間：10年（第三者による「中間評価」実施）

○災害時：広域物資輸送拠点

- ・ 迅速な「広域物資輸送拠点」への転換、「県の拠点運営」に対する協力

○平時：にぎわい拠点

- ・ アーバンスポーツに対応した施設の運営管理
（県内初人工スケートリンク、スケートボード場、3×3コート、テニスコート等）
- ・ 防災に関する教育・啓発（イベント、ワークショップ等）
- ・ 子育て支援やスポーツ講座等の提供（学童教室、スポーツ、料理講座等）

② 開館準備費 【7,000千円】

- ・ 施設外駐車場の整備
- ・ オープンイベントの実施（R5年夏：防災講演会、スポーツ体験イベント等）

担当：とくしまゼロ作戦課

「四国の右下」の強みを活かした新しい地域づくり



【令和5年度当初予算額 32,810千円】

1 目的 「四国の右下」の強みを活かした新しい地域づくりを推進するため、「もうかる農林水産業」の推進や魅力ある観光地域づくり、地域防災力の強化に取り組む。

2 事業内容 (1) きゅうりタウンから広がる多様な人材発掘支援事業 **GX** 2,010千円

- きゅうりタウンからリードするSDGsの推進
- お試しトレーニングファーム（1週間程度の短期）の新設
- みどりの食料システム戦略の実現に向け「環境負荷軽減の取組み」を推進

(2) 万博を見据えた「四国の右下」サステナブル観光強化事業 20,800千円

- 「大阪・関西万博」や「ワールドマスターズゲームズ関西」を見据え、DMVをはじめ、満足度の高い観光コンテンツや、地域での受入体制の強化を図る。

(3) (新) 南部総合県民局美波庁舎防災機能強化事業 10,000千円

- 県南における「最前線防災拠点」である美波庁舎の業務継続力強化を図るため、庁舎改修に係る実施設計を行う。



「みぎアゲTV」



「Deep South Tokushima, Japan」
(英語版)

「グリーン社会」実現への「地域脱炭素」の展開



【令和5年度当初予算額 129,455千円】

1 目的 「脱炭素社会・グリーン社会」の実現に向け、地域における脱炭素の取組みを展開し、GX施策を推進する。

2 事業内容 (1) 県有施設・自家消費型太陽光発電率先導入事業 **GX** 102,855千円

電力の脱炭素化と防災力の向上を図るため、初期費用を低減するPPAモデルを活用し、県有施設に「自家消費型の太陽光発電」及び「蓄電池」を率先導入する。

・**(新)**太陽光発電等を設置するPPA事業者への補助金：90,855千円など

(2) 自然エネルギー・地域マイクログリッド導入促進事業 **GX** 21,000千円

エネルギーの地産地消による地域の脱炭素化と防災力の向上を図るため、豊かな水資源を活用した「小水力発電施設」の整備や、「地域マイクログリッド」の導入調査の取組みを支援する。

・自然エネ導入調査

小水力発電 【補助率】：1／4 【上限額】：1,000千円

地域マイクログリッド 【補助率】：1／2 【上限額】：2,000千円

・小水力発電施設整備 【補助率】：1／4 【上限額】：18,000千円

(3) **(新)**とくしまGX推進計画策定事業 **GX** 5,600千円

「2050年カーボンニュートラル」の達成に向け、GX施策を強力かつ総合的に推進するため、「気候変動対策推進計画」と関連する複数の戦略を一元化し、新たな「GX推進計画」を策定する。

担当：グリーン社会推進課

燃油高対策！工業用水道・動力費の低減



【令和5年度当初予算額 30,000千円】

1 目的 ウクライナ情勢等による燃油高により、燃料費調整制度の上限価格廃止などが行われ、料金が高騰する商用電源からの消費電力を減少させ、動力費（電気料金）の低減を図るとともに、「2050年カーボンニュートラル」実現に向け、温室効果ガス排出量の削減、自然エネルギーによる電力自給率の上昇に寄与する。

2 事業内容 **⑨ 燃油高対策！工業用水道・動力費低減事業 GX 30,000千円**
 吉野川北岸工業用水道事業において、年間支出の約5%を占める動力費の低減を図るため、浄水場の空地等を有効活用し、出力100kW程度の自家消費型太陽光発電設備を導入する。

とくしま産！再生可能エネルギーの導入促進



【令和5年度当初予算額 15,000千円】

1 目的 再生可能エネルギーの電力自給率向上のため、県南部において導入拡大の障壁となっている系統制約の緩和に貢献する。

2 事業内容 **⑨** とくしま産！再生可能エネルギー導入促進事業 **GX** 15,000千円

県南部の系統制約緩和のため、国への政策提言を踏まえ本格適用されることとなったN-1電制に自動対応する装置を、同地域に所在する日野谷発電所に導入し、再エネ発電設備の導入促進に貢献する。

※N-1電制：送電線で故障が発生した場合に、発電所からの送電を瞬時に制限することで緊急時用に空けておいた送電線容量を常時にも使用する手法

SDGs達成に向けた「消費者行政・消費者教育」の飛躍



【令和5年度当初予算額 55,000千円】

1 目的 デジタル社会の進展やSDGsの実現を見据え、多様化が進む消費者問題に迅速に対応するとともに、「誰一人取り残さない」持続可能な消費者市民社会を率先して形成するため、全国を牽引する「消費者行政・消費者教育」徳島モデルの更なる推進を図る。

2 事業内容 **①未来を拓く！徳島発信SDGsアクションプロジェクト** **GX DX** 55,000千円

消費者政策創造の恒常的拠点である「消費者庁新未来創造戦略本部」との緊密な連携のもと、「未来・地域・社会」に配慮した「エシカル消費」への転換や、各世代の特性を踏まえた社会のデジタル化に対応した「消費者力」の強化など、「徳島ならではの実践型プロジェクト」を展開する。

- ① 若い世代と事業者が繋がる「エシカル消費」の推進
 - ・「エシカル甲子園2021」で大臣表彰を受賞した県立城ノ内中等教育学校・高等学校による「エシカリーフ」のアイデアをもとに、「エシカル消費の想い」を「見える化」し消費者にわかりやすく伝え、実践に繋げるための「エシカルマルシェ（仮称）」の開催
 - ・持続可能な社会実現に向け、地産地消の推進や食品ロス削減など、重要なテーマを取り入れた「とくしまSDGsシンポジウム2023（仮称）」を開催し、本県の先駆的な「エシカル消費」の取組みを世界に発信
- ② デジタル社会に即した「全世代への消費者教育」の推進
 - ・教育現場のニーズに応え、デジタル化による消費生活の環境変化を踏まえた中学校向け「消費者教育デジタルテキスト」の作成
 - ・消費者教育との接点が少ない成人に向け、隙間時間に気軽に学べる機会の充実を図るため、「SNSを活用した効果的な啓発」の実施
 - ・デジタル機器に不慣れな高齢者向けに「デジタル分野」のトラブルを回避し、賢く利用するための「実践型セミナー」の県内全域での実施

担当：消費者政策課

「消費者政策の国際拠点・徳島」の実現



【令和5年度当初予算額 48,380千円】

1 目的 2025年「大阪・関西万博」、2030年「SDGs達成」、2050年「カーボンニュートラル」を見据え、ASEAN諸国をはじめ世界各国との連携による施策を展開し、「消費者庁新未来創造戦略本部」と共に徳島県の「消費者政策の国際拠点化」を推進する。

2 事業内容 (1) 世界へ発信！消費者政策「国際拠点化」推進事業 **GX DX** 31,300千円

「オンラインショッピングでの誇大広告」や「ステルスマーケティング」など、「DXの加速」により生じる国際的な消費者問題の解決を図るため、国内外の関係者が集う「とくしま国際消費者フォーラム2023（仮称）」を開催する。

- ・国際消費者政策のフロントランナーを招聘したディスカッションの開催
- ・ASEAN諸国を中心とする国内外の若者によるセッションの開催
- ・2025年「大阪・関西万博」におけるMICE効果の創出を見据え、本県におけるSDGsの取組み等を体感する「スタディツアー」を通じた魅力発信

(2) 世界とつながる！消費者行政・消費者教育国際連携ネットワーク強化事業 **GX DX** 11,080千円

「国際会合」を契機に創設した「国際連携ネットワーク（TIS）」委員等の、グローバルな視点に基づく知見の共有により、本県の消費者政策の進化を図る。

- ・消費者政策における社会的関心の高い課題等の世界への戦略的・継続的情報発信
- ・専門家集団「TIS」委員が集う会議の開催による、消費者政策の一層の進化

(3) 世界の架け橋へ！とくしま消費者政策グローバル化推進事業 **GX DX** 6,000千円

「アジアにおける消費者政策の拠点化」の推進に向け、ASEAN諸国等の高等教育機関との国際連携の進化を図る。

- ・海外と県内の大学生や高校生等による、エシカル消費やSDGs等の最新潮流をテーマとした「オンライン交流会」の開催及び「国際フォーラム」への参加

担当：消費者政策課

畜産振興に向けた「家畜防疫拠点」の整備推進



【令和5年度当初予算額 237,000千円】
 【令和6年度債務負担行為設定額 380,000千円】

1 目 的

国内で過去最大の被害をもたらしている高病原性鳥インフルエンザや、
 県内・野生いのししで感染が拡大している豚熱へ迅速に対応するとともに、
 本県畜産業のニーズを的確に捉えた畜産振興施策を推進する
 「将来を見据えた家畜保健衛生所」を実現するため、
 家畜保健衛生所の検査体制強化と老朽化対策を一体的・効果的に推進する。

2 事業内容

家畜保健衛生所再編整備事業		237,000千円
(1)	南部圏域庁舎の整備（令和4年度より継続）	225,200千円
①	庁舎の整備場所	
	・ 現庁舎を建て替え	
②	新たに強化する機能	
	・ 遺伝子検査室等の設置による、迅速かつ的確な疾病診断	
	・ 野生動物専用解剖検査室の設置による、交差汚染防止対策強化	
	・ 庁舎における災害時の防災機能の強化、ZEBを取り入れた設計	
③	スケジュール	
	・ 令和4～5年度：基本・実施等設計、旧庁舎解体	
	・ 令和5～6年度：建築工事	
	・ 令和6年度：庁舎完成予定	
(2)	西部圏域庁舎の整備（令和5年度より着手）	11,800千円
①、②	は同上	
③	スケジュール	
	・ 令和5年度：旧庁舎一部撤去、試掘調査等	
	・ 令和6～7年度：基本・実施等設計	
	・ 令和7～8年度：建築工事	
	・ 令和8年度：庁舎完成予定	
	・ 令和8～9年度：旧庁舎解体	

担当：畜産振興課

生活困窮者に対する支援の充実



【令和5年度当初予算額 102,083千円】

1 目的 コロナ禍の長期化や物価高騰の影響により、多様化する生活困窮者の課題やニーズに対応するため、「誰一人取り残さない」とのSDGsの基本理念に基づく、支援体制を推進するとともに、貧困の連鎖の防止に向けた「こどもへの学習支援」を行う。

2 事業内容 (1) **①** 生活困窮者「徳島SDGs支援体制」推進事業 32,703千円

「生活福祉資金の特例貸付」や「生活困窮者自立支援金」が終了することから、自立に向けた支援体制の一層の充実を図る。

[自立相談] アウトリーチ支援員によるプッシュ型支援に加え、食料提供先の開拓

[家計改善] 個々の状況に応じた伴走型支援や、オンライン相談の推進

[就労準備] SDGsに取り組む企業を中心に就労訓練先企業として開拓

(2) 生活困窮者自立支援事業 57,130千円

困窮者が抱える課題に応じた支援計画の作成や、家賃の支払いに困った方への給付金の支給、不安定居住者に対する住まいの確保など、包括的な支援を実施する。

(3) **①** こどもの健全育成支援事業 12,250千円

生活困窮家庭のこどもを対象に「学習支援」や「家庭訪問支援」を行うとともに、安心して大人や社会とつながることができる「居場所づくり」を進める。

○ 中学3年生を対象として、対面形式での学習教室を開催し、学力向上や高校進学を支援するとともに、家庭訪問による生活面の相談支援を行う。

【対象生徒数の拡大】1校あたり12人→16人に拡大

○ 1人1台端末を活用した「自宅参加型のオンライン教室」を開催するとともに、「移動こども食堂」と連携し、県下各地域における居場所づくりを推進する。

【実施町村の選定】事業実施地域を公募し、より広い地域へ居場所づくりを展開

IoTでつなげる！野生鳥獣の捕獲強化と利活用推進



【令和5年度当初予算額 35,600千円】

1 目的 中山間地域のみならず、市街地でも野生鳥獣の出没が増加する中、鳥獣被害の低減に向け、IoT技術や専用サイトを活用した、イノシシ、シカ、サル出没・生息状況の「見える化」や多様な捕獲人材の活用等による「広域的な捕獲」、ジビエの「機能性を活かした商品開発」などを推進し、野生鳥獣の「捕獲と利活用の強化」を図る。

2 事業内容 (1) **IoTで「猪・鹿・猿」見える化事業** **DX** 5,000千円

県民が投稿したイノシシ・シカ・サルの目撃情報と生息状況等の蓄積データを統合し、Web上に「見える化」する専用サイトを構築するとともに、都市部において、住宅地等へ接近するイノシシ等をAIセンサーカメラで判別・通報する、新たな「出没通報システム」を実証し、被害防止対策の強化に繋げる。

(2) **活かせ多様な人材！鳥獣捕獲強化事業** **DX** 29,100千円

市町村単独では対策が困難な境界付近において、GPS首輪や通信機能付きカメラなどのIoT技術を更に活用し、シカやイノシシの生息状況や行動圏を把握するとともに、退役自衛官等の多様な人材を活用し、県と市町村、猟友会等が連携した効率的で広域的な捕獲に取り組む。

(3) **「阿波地美栄」魅力発信・消費拡大パワーアップ事業** 1,500千円

「阿波地美栄」の更なる利用を促進し、消費拡大に繋げるため、大学等との連携による、ジビエの機能性を活かした「アスリート食」の開発を進める。

担当：鳥獣対策・ふるさと創造課

人生100年時代へ！「健康寿命延伸」に向けた生活習慣病対策の加速



【令和5年度当初予算額 25,036千円】

1 目的 健康寿命の延伸を図るため、循環器病に関する「情報提供」や「相談」を通じて疾患の予防等を推進するとともに、とくしま健康ポイントアプリ「テクとく」を活用し、県民の健康づくりを支援するなど、生活習慣病対策を加速する。

2 事業内容 (1) **新** 脳卒中・心臓病等総合支援センター事業 20,000千円

循環器病の予防から医療・福祉サービスまでを切れ目なく提供するため、徳島大学病院が設置した「脳卒中・心臓病等総合支援センター」が行う「循環器病に関する正しい知識の普及啓発」や「相談事業」に対し支援を行う。

- ・ 県民公開講座等、循環器病に関する情報提供及び普及啓発の実施
- ・ 研修会やクリニカルパス等を介した、多職種や地域連携の強化

(2) とくしま健康ポイント推進事業 **DX** 5,036千円

糖尿病をはじめとする生活習慣病の予防を推進するため、「テクとく」を通じて市町村や保険者等と連携した各種イベントを実施し、利用者数の増加につなげるなど、運動習慣の定着につながる環境づくりを加速する。



地域介護の総合的な確保に向けた取り組み



【令和5年度当初予算額 482,764千円】

1 目的 介護施設等の整備及び介護従事者の確保を推進するため、地域における医療及び介護の総合的な確保を目的として創設した「徳島県地域医療介護総合確保基金（介護分）」等を活用し、市町村や事業者が実施する事業に助成する。

2 事業内容 **(1) 地域介護総合確保施設整備事業** 226,500千円

- 「地域包括ケアシステム」の深化・推進のため、介護施設の大規模修繕や介護職員の宿舎整備等を実施する事業者に対して経費を補助
【補助率】：国2/3 県1/3

(2) 地域介護・福祉空間整備等施設整備事業 54,000千円

- 介護施設の防災・減災対策を推進するため、「非常用自家発電設備」等を設置する事業者に対して経費を補助
【補助率】：国1/2 県1/4 事業者1/4
【下限額】：500万円

(3) 地域介護総合確保推進事業 **DX** 202,264千円

- 職員の業務負担軽減や、科学的介護に基づく質の高いサービスの提供を実現するため、ICT機器や介護ロボットの導入を進める介護事業者を支援
【補助率】：国1/2 県1/4 事業者1/4（一定の要件を満たす場合）
【上限額】：ICT導入 最大260万円
介護ロボット導入 1機器あたり最大100万円
- 介護従事者の確保を支援するため、事業者が実施する「担い手確保」「資質の向上」「労働環境・処遇の改善」に資する事業を支援
【補助率】：国2/3 県1/3

担当：長寿いきがい課

一人ひとりに寄り添った結婚支援の加速



【令和5年度当初予算額 33,620千円】

1 目的 未婚化・晩婚化などにより少子化が進行する中、結婚したい人の希望を叶えるため、「とくしまマリッジサポートセンター（マリッサとくしま）」を拠点として、県下における総合的な結婚支援の取組みを推進する。

2 事業内容 **とくしま結婚支援プロジェクト加速化事業** **DX** 33,620千円

- (1) 「マリッサとくしま」によるきめ細やかな結婚支援
結婚支援システムを活用したマッチングや企業等と連携したイベントを開催するとともに、阿波の縁むすびサポーター等によるきめ細やかな結婚支援に取り組む。
- (2) ① 「結婚支援コンシェルジュ」の配置
市町村や企業等と連携した結婚支援の強化を担うコンシェルジュを「マリッサとくしま」に配置し、県下における結婚支援のさらなる充実を図る。
- (3) 市町村との連携による「出逢い応援事業」の展開
市町村と連携して、地域資源を活用した出逢いイベントやスキルアップセミナーを開催する。
- (4) 「ライフデザインセミナー」の開催
大学生や新社会人等を対象に、結婚、妊娠・出産、子育てなどのライフデザインについて考えるセミナーを開催する。

不妊・不育に対する支援の充実



【令和5年度当初予算額 17,500千円】

1 目 的 妊娠を希望する夫婦を支援するため、不妊症の診断に必要な初期検査に係る費用や、保険適用を見据え先進医療として実施される不育症検査費用を助成する。

2 事業内容 **このとり応援事業** 17,500千円

○不妊検査費用助成事業

妊娠を希望する夫婦の健康状態を確認し、将来の妊娠のための健康管理を促すとともに、必要な方の早期治療を促進するため、夫婦がともに受けた不妊検査費用の一部を助成する。

【対象者】過去に不妊検査及び不妊治療（人工授精、体外受精、顕微授精）を受けたことがない夫婦（事実婚も対象）

【対象検査】不妊症の診断に係る医療保険適用外の検査で、精液検査及び抗ミュラー管ホルモン検査は必須とする
※ただし、性感染症に係る検査費用は対象外

【助成回数】一組の夫婦につき1回まで

【助成額】夫婦がともに受けた検査の合算費用につき2万5千円まで

○不育症検査費用助成事業

不育症の方の経済的負担の軽減を図るため、不育症検査に要する費用の一部を助成する。

【対象者】二回以上の流産、死産の既往歴がある者

【対象検査】先進医療として実施されている不育症検査

【助成額】1回の検査につき5万円まで

担当：健康づくり課

小児救急医療提供体制の確保



【令和5年度当初予算額 111,576千円】

1 目的 小児救急医療提供体制の確保を図るため、こども医療相談体制を整備するとともに、高度な小児救急を担う医療機関の運営を支援する。

2 事業内容 **(1) 小児医療相談事業 DX 27,162千円**

休日や夜間のこどもの急な病気やケガなどの際、家庭でどのように対処すればよいのか、すぐに医療機関を受診した方がよいかなど判断に迷ったときに、電話やオンラインで看護師や小児科医に相談できる体制を整備する。

- 徳島こども医療電話相談
電話による相談体制（#8000）
月曜日～土曜日：午後6時～翌朝8時
日曜日・祝日・年末年始（12/29～1/3）：24時間対応

- ⑨ 徳島こども医療オンライン相談
LINEによる相談体制（チャット、音声通話、動画通話）
平日：午後6時～午後10時

(2) 小児救急医療拠点病院運営支援事業 84,414千円

休日及び夜間を含め、外傷や熱傷等の入院治療が必要となる緊急性の高い小児救急患者に対応する医療機関への運営支援を行う。

- （東部地区）県立中央病院
- （南部地区）徳島赤十字病院
- （西部地区）つるぎ町立半田病院、県立三好病院

担当：医療政策課

未来へ繋ぐ！保育現場サポートプロジェクト



【令和5年度当初予算額 179,361千円】

1 目的

こどもが健やかで安心・安全に成長できる環境を確保するため、保育環境の向上を図る取組みを支援するとともに、民間事業者と連携し、保育人材の確保に向けた取組みを推進する。

2 事業内容

(1) **新**保育環境向上支援事業 162,606千円

市町村における老朽化した備品の更新をはじめとする保育提供体制の整備や、保育助手制度等を活用した勤務環境の改善に必要な施策に対し支援を行う。

【補助率】：2／3等

(2) とくしま子育てはぐくみ応援推進交付金事業 11,900千円

子育て支援ニーズや地域の実情に応じた県独自の交付金により、市町村における機動的かつ戦略的な子育て施策に対し支援を行う。

【補助率】：1／2

(3) 保育士養成施設に対する就職促進支援事業 1,855千円

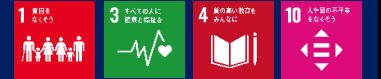
指定保育士養成施設における、県内保育所等への就職促進に繋がる積極的かつ新たな取組みに対して支援を行う。

(4) 保育士試験対策講座実施事業 3,000千円

筆記及び実技試験に向けた保育士試験対策講座を実施し、合格率の向上を図ることで、県内保育所等への就職を促進する。

担当：次世代育成・青少年課

こども、子育て支援体制の充実



【令和5年度当初予算額 410,019千円】
 【令和4年度2月補正額 179,918千円】

1 目的 子育てに困難を抱える世帯が、これまで以上に顕在化している状況を踏まえ、支援を必要とする子育て世帯に対し、「こども家庭センター」をはじめ、地域が主体となってサポートする体制づくりを後押しする。

2 事業内容 **(1) 安心こども基金積立金 164,518千円**

こどもを安心して育てることのできる環境整備を図るため創設した「安心こども基金」の積み増しを行い、市町村の体制強化及び支援事業の拡充を行う。

(2) ①こども家庭見守り緊急対策事業 425,419千円

「ヤングケアラー」をはじめ、家事や育児に対して困難を抱えた家庭等を支援するため、「安心こども基金」を活用し、市町村における支援体制の充実を図る。

【補助率】：3／4等

○子育て世帯訪問支援事業

支援を要する子育て家庭を訪問し、家事・育児援助や相談対応等を行う。

○児童育成支援拠点事業

支援を要するこどものための支援拠点を整備し、食事の提供や学習支援等を行う。

○親子関係形成支援事業

適切な親子関係を構築するため、「ペアレントトレーニング」を実施する。

○母子保健・児童福祉一体的相談支援機関整備・運営事業

「こども家庭センター」開設に向け、施設整備や運営に関する費用の支援を行う。

担当：次世代育成・青少年課こども未来応援室

児童相談所のデジタル化による体制強化



【令和5年度当初予算額 55,140千円】

1 目的 年々増加する児童虐待を未然防止し、安心して「産み・育つ」ことのできる徳島を実現するため、デジタル技術を活用した業務改革により、児童相談所の体制強化を図る。

2 事業内容 **新**児童相談所DXプロジェクト **DX** 55,140千円

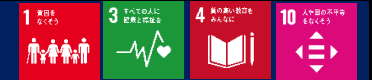
(1) 児童相談所業務のデジタル化

- ・「児童相談管理システム」を導入し、虐待情報をシステム管理するとともに、ネットワーク上で関係機関とリアルタイムの情報共有を図ることにより、「虐待の早期発見・早期対応」をはじめ、「見守り体制の充実」につなげる。
- ・国において導入準備を進めている「AIシステム」を活用し、地域性を考慮した適切なリスク判定を行うため、ノウハウの蓄積を行う。

(2) オンライン協議体制の充実

- 「児童相談管理システム」を「マルチデバイス対応」とすることで、迅速な情報共有や意思決定を行い、「場所や時間」に左右されない虐待対応を可能とする。

こども未来応援プランの推進



【令和5年度当初予算額 100,878千円】

1 目的 「こどもの最善の利益」の実現のため、「徳島こども未来応援プラン」に基づき、社会的養育の体制整備を多面的に展開する。

2 事業内容 **こども未来応援プラン推進事業** 100,878千円

(1) 児童相談所強化、一時保護機能の充実

児童相談所の相談援助活動や親子関係再構築支援に係る体制強化を行うとともに、一時保護機能の充実により、児童の処遇環境改善等を図る。

(2) 家庭的養育の推進及び自立支援の強化

- ・児童養護施設の小規模化や地域分散化のための施設整備、人材確保及び体制強化に対する支援を行う。

- ・児童養護施設の入所児童が抱える心理的問題に対応するため、施設職員が専門家から医療的アドバイスが受けられる体制を構築する。

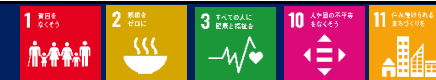
⑨・児童養護施設等退所者（ケアリーバー）の実態把握のための調査を実施するとともに、関係機関による連携会議を開催し、自立支援体制の強化につなげる。

⑩・施設入所児童の高校入学時支度金について、措置費の上限を超える経費を支援することにより、自立を後押しする。

(3) フォスタリング体制の推進

「家庭養育優先原則」のもと、里親のリクルートからマッチングまでの包括的支援を行う「フォスタリング体制」を推進する。

こどもの「居場所づくり」の加速化



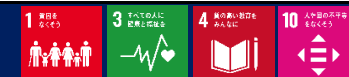
【令和5年度当初予算額 14,400千円】

1 目的
こどもたちが、より身近な地域で、多様な世代と交流し、安心して過ごすことのできる場を確保するため、「こども食堂」をはじめとした「居場所づくり」を推進する。

2 事業内容 **① ひろがれ！こどもの居場所応援事業** 14,400千円

- (1) ひろがれ！こども食堂応援事業
「こども食堂」の地域的偏在を解消し、全県的展開につなげるため、新規開設に向けた取組みを支援する。
- ・「こども食堂」未開設地域において、地域住民や関係機関と連携し、試験的な「こども食堂」を開催することにより、認知度向上と全県的展開への機運醸成につなげる。
 - ・「こども食堂」開設に関する様々な不安を解消するため、経験豊富な運営者によるサポートを行う。
- (2) こどもの居場所づくり推進事業
持続可能な「こどもの居場所」運営を目指し、官民共同ネットワークの構築を支援する。
- ・「こどもの居場所づくり推進コーディネーター」を配置し、相談や情報発信等を実施する。
 - ・地域ネットワークの構成員や調整役となる人材を育成するため、研修を実施する。

ヤングケアラー支援体制の構築



【令和5年度当初予算額 6,000千円】

1 目的 「ヤングケアラー」を早期発見・把握し、こどもに寄り添った支援につなげるため、県や市町村をはじめ、民間団体などの関係機関が連携し、「支援体制」の構築を図る。

2 事業内容 **①ヤングケアラー支援体制構築事業** 6,000千円

- (1) 「ヤングケアラーの支援に関する関係者会議（仮称）」の設置
「ヤングケアラー」に気づき、支援につなげる体制を構築するため、関係機関をはじめ、若者をメンバーとする関係者会議を設置する。
- (2) 「ヤングケアラー支援アドバイザー（仮称）」の設置
発見、把握された「ヤングケアラー」を適切な支援につなげる際の助言や支援機関とのパイプ役となる「アドバイザー」を県に配置する。
- (3) 多様な「相談体制」の構築
 - ・若者に親しみのある「SNS」を活用した相談窓口を開設する。
 - ・当事者が悩みや経験を共有し、気軽に集える「語りの場」として、民間団体と連携し、「オンラインサロン」を開催する。
- (4) ヤングケアラー支援の普及・啓発
 - ・「ヤングケアラー」の地域での気づきや見守り、支援を目的とした、「県民向けフォーラム」を開催する。
 - ・市町村職員をはじめ、教育、福祉、介護、医療等関係職員を対象とした、「ヤングケアラー」の早期把握や具体的支援策につなぐための研修を開催する。

担当：次世代育成・青少年課こども未来応援室

ヤングケアラーの解消に向けた支援の強化



【令和5年度当初予算額 3,600千円】

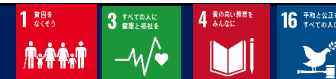
1 目的 高齢者や障がい者児等へのケアを原因とする「ヤングケアラー」の発生を防止するため、「ケアを必要とする方」へのアプローチにより、福祉サービスや世帯の状況を的確に把握し、適正な福祉サービスの提供を図る体制を構築する。

2 事業内容 **① 新 つなぐヤングケアラー等支援事業** 3,600千円

「ケアを必要とする方」の家庭の状況を把握できる介護支援専門員や相談支援専門員等の方が、「ヤングケアラー」について認識し、必要な支援につなぐことができるよう、関係機関と連携し、マニュアル等のツールの作成や研修を実施する。

- ・ 「ヤングケアラー」について、共通の認識を持ち、早期発見につなげるための「チェックリスト」の作成
- ・ 発見した「ヤングケアラー」を必要な支援につなぐための関係機関との連携や具体的な支援策を示した「マニュアル」の作成
- ・ 「介護・障がい福祉」の専門職の方に対し、「チェックリスト」や「マニュアル」を活用した「ヤングケアラー支援研修」の実施

困難な事案に直面した児童生徒への支援体制の強化



【令和4年度2月補正額 5,200千円】

- 1 目的 全国の児童生徒の自殺者数は過去最多の水準であり、学校における自殺予防の取組みを一層強化するため、困難な事案に直面した児童生徒への学校の対応力強化と、早期発見・早期対応のためのA Iシステムを活用したスクリーニングによる支援体制の充実を図る。

2 事業内容

① 徳島こどもサポートネット事業 **DX** 5,200千円

- 多職種の専門家による「こどものリスク対応・支援チーム」の設置・派遣
新たに精神科医による医学的知見を加えた多職種(臨床心理士、社会福祉士等)の専門家チームを構成し、「予防的対応」と「危機対応」の両面から、課題を抱える児童生徒や家庭への専門家総動員による迅速かつ的確な支援を実施する。
- A Iシステム活用による「こども見守り支援体制」の構築
四国で初めて導入する「A Iスクリーニングシステム(YOSS)」の活用モデル校を指定し、児童生徒が抱える様々な課題やリスクの早期発見・早期対応への「支援モデル」を構築するとともに、県内の自治体・学校への横展開を図る。

【対象】 県内の小・中学校(2市町村・全10校)

県立高校「民活エアコン」の県負担による「快適な教育環境」の整備



【令和5年度当初予算額 168,100千円】
 【令和6～19年度債務負担行為設定額 502,547千円】
 【令和6年度債務負担行為設定額 243,900千円】

1 目的 「電気料金等高騰」や「将来的な生徒数の減少」、「熱中症対策」などに万全を期すため、保護者負担により設置された空調「民活エアコン」のリース料等を県負担に切り替え、将来にわたり、生徒の安心・安全で「快適な教育環境」の整備を図る。

2 事業内容 **⑨ 県立高校空調設備整備事業** 168,100千円

① 「民活エアコン」のリース期間が残る高校について
 県がリースの残期間を継承し、保護者負担の軽減を図る。

○ リース料（保守・点検・修繕・管理を含む） 30校

（債務負担）県立高等学校空調設備等賃貸借契約
 令和6年度～令和19年度まで 502,547千円

② 「民活エアコン」のリース期間が満了する高校について
 新たに空調設備を県負担により整備する。

○ 設計・工事 3校

（債務負担）高校施設整備事業工事請負等契約
 令和6年度 243,900千円

高校と地域を魅力化！未来へつなぐ総合寄宿舎の整備



【令和5年度当初予算額 1,120,504千円】

【令和6年度債務負担行為設定額 357,123千円】

1 目的 県内遠隔地や県外からの入学希望者の増加に伴い、満室状態にある総合寄宿舎を増設することで、生徒の受入れ体制の拡充を図り、県内外から生徒が集う多様性のある学校づくりを進め、高校の更なる魅力化を図る。

2 事業内容 **(1) 総合寄宿舎（阿南寮）増設事業** 46,128千円

- 民間事業者の創意工夫やノウハウを活用するとともに、財政負担の平準化を図ることのできるリース方式により寄宿舎を整備。
- ・構造・規模 木造2階建（延床面積 1,143㎡、定員40名）
 - ・特徴 個室仕様、Wi-Fi完備、構造用木材の50%に県産杉使用
ZEH基準の省エネ性能、太陽光発電設備を設置
 - ・スケジュール 令和5年秋頃竣工予定
- ※リース料総額 461,274千円（R5～10年度、R6年度以降は債務負担行為設定済）

(2) 総合寄宿舎（三好寮）増設事業 1,074,376千円

- 全国的にも類を見ない、県市協調による市施設を併設した寄宿舎として、入学生増加につなげるとともに、高校生と地域の更なる交流推進とにぎわい創出を図る。
- ・工事費 1,431,499千円（一部、R6年度債務負担行為を設定 357,123千円）
（三好市負担額 589,650千円）
 - ・構造・規模 鉄骨造3階建（延床面積 約3,000㎡）
 - ・三好市施設 1階（約1,050㎡）
近隣住民の利便性向上のための図書館や公民館機能等を備えたオープンスペースに加え、生徒も利用できる学習スペースを配置
 - ・寄宿舎 2～3階（約1,950㎡、定員70名）
個室仕様、Wi-Fi完備
 - ・スケジュール 令和5年7月着工予定

担当：教育創生課

「すべての児童生徒に学びの保障を！」学校教育活動の支援



【令和5年度当初予算額 63,022千円】

1 目的 「学校教育活動の充実」と「働き方改革」を実現するため、多様な外部人材が学校の教育活動に参画し、教職員と連携する取組みを支援する。

2 事業内容 (1) 学びの保障のための学校教育活動事業 37,800千円

一人ひとりの学習定着度に応じたきめ細やかな指導を図るため、授業準備の補助やTT（チーム・ティーチング）指導、放課後等を活用した補習授業、オンライン授業や会議の際のICT機器活用補助等を行う学習指導員（学びサポーター）を配置する。

(2) 教員業務支援員配置促進事業 25,222千円

教員の業務支援を行い、教員がより児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整備し、教員の「働き方改革」の実現を図るため、市町村立小中学校における教員業務支援員の配置を支援する。

【補助率】：2／3

担当：教職員課、学校教育課

大阪・関西万博に向けた英語発信力のパワーアップ



【令和5年度当初予算額 2,670千円】

1 目的 「大阪・関西万博」に向け、県内中学生が本県への愛着と誇りを備え、実践的な英語コミュニケーション能力を身に付けるため、万博や本県の魅力を英語で広く国内外へ発信する活動を行う。

2 事業内容 **① World EXPO×とくしま発信プロジェクト事業** 2,670千円

○AWA English Study 万博バージョン

(1) 対象 : 中学生

(2) 場所 : オンライン及び牟岐少年自然の家

(3) 内容

オンライン&合宿で「英語漬け体験」を提供

●オンラインでの活動

- ・万博の理念やテーマについて英語で語る力を養うオンライン学習
- ・英語を用いて外国人と「とくしまバーチャルパビリオン」を体験

●合宿での活動

- ・海洋環境の問題について学ぶワークショップ及び海の活動体験
- ・徳島の自然やSDGsの取組みについて英語で語る力を養う集中学習
- ・万博・徳島の魅力を留学生やALTに紹介するプレゼンテーション体験

G I G Aスクール構想の着実な推進と教育D Xの加速



【令和5年度当初予算額 230,253千円】

【令和4年度2月補正額 21,607千円】

1 目的 「徳島県G I G Aスクール構想」によるI C T環境を活用し、教育D Xを一層推進するためI C T利活用環境や支援の充実、新たな学び創造や教育データ利活用に関する実証を行う。

2 事業内容 (1) 徳島県G I G Aスクール構想推進事業 **DX** 163,690千円
多様な児童生徒の可能性を最大限に引き出す「個別最適な学び」「協働的な学び」を一体的に推進するため、学校I C T利活用環境（授業支援アプリ等）を確保する。

(2) G I G Aスクール運営支援センター整備事業 **DX** 21,607千円
学校や家庭での1人1台端末の利活用を推進するため、県・市町村が連携した広域での「G I G Aスクール運営支援センター」を継続設置し、サポート体制の強化を図る。

(3) **新** G I G Aスクールサポート人材配置事業 **DX** 18,863千円
G I G Aスクール環境を効果的に活用した授業実践や校務処理の効率化を図るため、県立学校での授業等におけるI C T利活用とI C T環境維持を支援する専門人材を配置する。

(4) 教育データ利活用推進事業 **DX** 47,700千円
G I G Aスクール構想で整備されたI C T環境を活用して、個別最適な学びを実現するため、C B Tによる教育データ利活用研究の拡充や学校の通信環境の充実を行う。

※C B T : 【Computer Based Testing】コンピュータを使った学習

担当：学校教育課、総合教育センター

中学校における部活動の地域移行等に向けた環境整備



【令和5年度当初予算額 108,945千円】

1 目的

生徒がスポーツや文化芸術に継続して親しむ機会を確保するとともに、学校の働き方改革を推進するため、中学校における休日の部活動の段階的な地域移行に向けた、指導者の確保や関係団体との連携強化等の環境整備を推進する。
また、学校に部活動指導員を配置し、生徒のニーズを踏まえた部活動の充実と教師の負担軽減を図る。

2 事業内容

(1) 部活動の地域移行に向けた実証事業 62,302千円

運動や文化部活動関係者との連絡調整・指導助言等の体制や、指導者の確保、参加費用負担への支援等に関する実証事業を実施し、県内の地域移行の取組みを推進する。

⑨ 運動部活動の地域移行等実証事業 55,308千円

⑨ 文化部活動の地域移行等実証事業 6,994千円

(2) あわっ子部活動サポート事業 46,643千円

教師に代わる指導や大会引率、生徒のニーズを踏まえた充実した活動を推進する部活動指導員配置に対する支援を行う。

・ あわっ子運動部活動サポーター（部活動指導員）配置支援事業 43,039千円

⑨ あわっ子文化部活動サポーター（部活動指導員）配置支援事業 3,604千円

【補助率】：2／3

高校スポーツの強化による競技力向上の推進



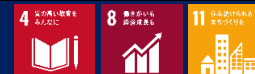
【令和5年度当初予算額 7,600千円】

1 目的 全国大会等で継続的に入賞できる高校運動部の強化・育成を行うため、「競技力向上指定校」において、強化活動や指導者育成への集中的な支援を行う。

2 事業内容 **① 新しく とくしま競技力向上指定校事業** 7,600千円

- (1) 「競技力向上指定校」の指定
全国大会で、高い実績を有する「トップ指定校」と上位入賞が期待できる「チャレンジ指定校」を指定し、区分に応じた支援を行う。
- (2) 競技力向上に向けた活動への支援
 - ・遠征・合宿、強化練習会、指導者招聘、有力チーム招待等の強化活動
 - ・中学校段階からの継続的な育成に向けた中学生対象の練習会・講習会 等集中的な支援を行う。

徳島文化芸術ホール(仮称)の整備



【令和5年度当初予算額 1,496,300千円】

【令和5～8年度継続費設定額 19,793,000千円】

1 目的

県民の文化活動のさらなる促進や優れた文化芸術の鑑賞機会の提供、
 県都の中心市街地活性化による県全域のにぎわい創出等を図り、
 希望あふれる「徳島の未来」を創造するため、
 徳島文化芸術ホール(仮称)の整備を行う。

2 事業内容

新ホール整備事業

1,496,300千円

「県市協調新ホール整備基本計画」(令和3年3月策定)に基づき、
 新たな文化芸術の創造発信拠点を整備するため、
 実施設計及び工事を実施するとともに、
 令和8年度の開館に向けた管理運営体制の構築を図る。

【徳島文化芸術ホール(仮称)の概要】

○施設の構成と規模

- ・大ホール(1,934席)
- ・多目的スタジオ(300㎡)
- ・活動室(4室)
- ・小ホール(405席)
- ・リハーサル室(180㎡)
- ・カフェ など

※実施設計において、鑑賞環境の向上等のため、席数や面積は変動する場合あり

J R牟岐線への新駅設置



【令和5年度当初予算額 5,000千円】

1 目 的 徳島文化芸術ホール（仮称）への「アクセス向上」はもとより、徳島市役所や城東高等学校など、周辺公共施設への「利便性の向上」、車から公共交通への転換による「カーボンニュートラルの実現」のため、JR牟岐線への「新駅設置」を推進する。

2 事業内容 **新駅設置事業** 5,000千円

J R四国、徳島市と連携した新駅の詳細設計を実施

○新駅の概要

- ・ 徳島市役所東駐車場付近に駅出入り口を設置
- ・ 駅舎のない単線ホーム（約90m）

○新駅詳細設計（令和4年度～5年度）

- ・ 土木設計 プラットホームや軌道などの詳細設計
- ・ 建築設計 ホームや券売機の上屋の設計
- ・ 電気設計 制御ケーブルの移転、新駅電気設備などの設計

未来につなぐ都市公園の整備



【令和5年度当初予算額 2,054,100千円】

【令和6年度債務負担行為設定額 100,000千円】

1 目的 県営都市公園において、未来に継承するスポーツレガシーの創出のため、公園施設の大規模更新を推進する。

2 事業内容 **鳴門総合運動公園整備事業（オロナミンC球場改築事業）** 2,054,100千円

内野スタンドの全面改築について、令和8年度中の完成に向け、「実施設計」の推進とともに、「解体工事」に着手

○事業全体の内容

- ・令和4～5年度 実施設計
- ・令和5～6年度 解体工事
- ・令和5～8年度 改築工事 (R5～R8継続費 6,960,000千円)

○改築イメージ

- ・観客席を「2階建て」とした「2層式スタンド」の採用
- ・バックネット裏の「2階席」に屋根を設置
- ・球場全体の一体感を生み出す「大型映像装置」を設置
- ・屋内練習場の新設や監督室・コーチ室等の充実

「次世代光」による地方大学・地域産業創生の加速



【令和5年度当初予算額 783,830千円】

1 目的 本県における若者の修学・就業をさらに促進するため、「地方大学・地域産業創生交付金事業 展開枠」を活用し、「光」をテーマとした「魅力ある大学づくり」と「光関連産業の振興」を加速する。

2 事業内容 **① 「次世代光」による地方大学・地域産業創生加速化事業 783,830千円**

① 最先端研究及び社会実装の推進
重点2分野における「次世代光」の実用化に向けた研究及び製品開発を推進するとともに、「大阪・関西万博」での世界に向けた新技術発信をめざす。

【重点2分野】

- ・通信：テラヘルツ波の活用による6G通信技術及び応用機器開発
- ・医療：メタマテリアルを用いた呼気による赤外センサー開発 等

② 地域連携・人材育成の加速
大学研究から県内企業への技術移転を橋渡しする
「次世代光インキュベーション機構（仮称）」を徳島大学内に創設する。
・県内企業等とのプロトタイプ開発を通じた研究シーズの事業化及び実践的人材育成の実施
・研究成果の事業化加速に向けたタスクフォース型支援体制の構築

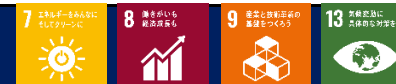


テラヘルツ波・
メタマテリアルについて
(pLED研究内容)



pLEDホームページ

戦略的企業誘致と県外企業の地方拠点立地の促進



【令和5年度当初予算額】 1,331,000千円
 【令和6～13年度債務負担行為設定額】 2,000,000千円

1 目的 「大阪・関西万博」の開催を控え、国内外から関西及び本県への関心が高まる中、本県への新たな人の流れを企業立地に繋げるため、補助制度を拡充する。

2 事業内容 (1) 企業立地促進事業費補助金 **DX** 1,301,000千円

県外でインターネットビジネス等を行う小規模事業者が、県内の過疎地域等で新たに拠点を立地する際に補助を行う「ふるさとクリエイティブ・SOHO事業者誘致事業補助金」の制度を再構築し、県内産業の活性化と成長産業の集積を図る。

- ① 「地域要件の緩和」と「補助限度額の拡充」
 - ・原則、過疎地域としている地域要件を県内全域に拡大
 - ・補助限度額（ランニング費用）の拡充

【現状】 100万円／年 → 【拡充】 200万円／年

- ② デジタル社会やグリーン社会の推進に資する「DX及びGX関連企業」の拠点立地に対して「ランニング費用」及び「雇用奨励金」を補助

(2) 情報通信関連事業立地促進費補助金 **DX** 30,000千円

コールセンター等の情報通信関連事業の集積を図るため、事業所等の開設・運営に係る回線使用料や事業所賃料、人件費等の補助を行う。

活力・魅力あふれる港湾整備の推進



【令和5年度当初予算額 510,000千円】

1 目的 県内経済の成長力を高めるため、徳島小松島港において、活力・魅力あふれる港湾施設の整備を推進する。

2 事業内容 **徳島小松島港津田地区活性化整備事業** 510,000千円

○全国の「高規格道路ネットワーク」と「県内初の地域活性化IC」である徳島津田ICが接続されたことを活かし、津田地区活性化の更なる推進並びに、県内公共残土の受入れ先確保のため、第2水面貯木場の護岸整備や埋立工事を実施

○事業概要

- ・埋立面積 約11.5ha
- ・埋立土量 約87万m³
- ・土地利用用途 企業用地、緑地等
- ・事業予定期間 令和5年度～10年度

「徳島・にし阿波」の地域資源を活かした地域づくり



【令和5年度当初予算額 29,600千円】

1 目的 「にし阿波」の地域資源を活かした地域づくりをさらに加速させるため、「にし阿波」への観光誘客や移住交流を一層推進する。

2 事業内容 (1) 「徳島・にし阿波」桃源郷魅力強化事業 **GX** 21,800千円

持続可能な観光地域づくりを推進するため、DMO「そらの郷」を中心に、「大阪・関西万博」や「ワールドマスターズゲームズ関西」を見据え、インバウンド回復に向けた戦略的なプロモーションを展開するとともに、「農泊受入家庭を核とした教育旅行」や「サステナブルツーリズム」の強化を図る。



「Hidden Tokushima Nishi-Awa, Japan」
(Instagram)

※外国人地域おこし協力隊による
情報発信



「Nishi-Awa Steep Slope Land Agriculture System」
※徳島剣山世界農業遺産
推進協議会HP

(2) 世界が注目！「世界農業遺産」魅力発信事業 **GX** 6,200千円

「にし阿波」の農業・農村の活性化を図るため、「にし阿波の傾斜地農耕システム」の「食文化や風景、さらには持続可能な農業の魅力」を世界に発信するとともに、多様な担い手の確保・育成に取り組む。

(3) (新) 「徳島・にし阿波」フレキシブルワーク体験・移住交流促進事業 **DX** 1,600千円

就農による移住者の増加に繋げるため、「にし阿波」の豊かな自然や伝統的な暮らしを活かした「就農」・「農泊」・「ワーケーション」等の様々な体験を自由に組み合わせる事が出来る「オーダーメイド型の就農体験ツアー」を実施する。

担当：地域創生観光部、農林水産部

マイナンバーカードの普及拡大



【令和5年度当初予算額 40,000千円】

【令和4年度2月補正額 69,000千円】

- 1 目的 「デジタル社会のパスポート」であるマイナンバーカードの普及拡大を図るため、市町村と連携し、県内の商業施設において「出張申請受付・出張申請サポート」を実施する。
また、国の「マイナポイント第2弾」に呼応して、県独自のポイントを付与する「徳島県版プレミアムポイント事業」を継続実施する。

2 事業内容 **(1) (新) マイナンバーカード普及拡大！出張申請受付・サポート事業** **DX** 40,000千円

市町村と連携し、県内のショッピングモールなど、県民に身近な商業施設にブースを設置し、マイナンバーカードの申請受付や、写真撮影をはじめとした申請サポートを行い、カード取得に係る県民の負担を軽減する。

(2) マイナンバーカード取得加速！徳島県版プレミアムポイント事業 **DX** 69,000千円

マイナンバーカードの新規取得者を対象として、国のマイナポイント（決済サービスの利用・チャージに対して、その金額の25%、最大5,000円分）に加え、徳島県内の対象店舗での利用・チャージに対して、県独自にポイント（30%、最大3,000円分）を上乗せ付与する。

また、マイナポイント、県版プレミアムポイントの取得を促進するため、広報及び県民からの問合せ対応を行う。

<参考>国のマイナポイント第2弾

- ① マイナンバーカードの新規取得者に最大5,000円分 ← 県版プレミアムポイント
- ② カードの健康保険証利用申込者に7,500円分 ← 最大3,000円分を上乗せ
- ③ 公金受取口座の登録者に7,500円分のポイントを付与



徳島県版プレミアムポイント事業ホームページ

先端技術等の活用による警察活動の更なる高度化・合理化



【令和5年度当初予算額 55,752千円】

【令和6年～11年度債務負担行為設定額 420,000千円】

1 目的

近年大きく変容する県民生活の実相に適応した警察行政を実現するため、先端技術の導入による「行政サービスの更なる拡充」、「業務の高度化・合理化」を図り、「警察業務のデジタル化」を推進する。

2 事業内容

(1) (新) 警察行政手続のデジタル化推進事業 **DX** 45,132千円

「県民の利便性向上・負担軽減」に向け、県民生活に密接した警察行政手続のデジタル化を推進

○ 運転免許行政のデジタル化事業 37,132千円

- ・ 「免許証・マイナンバーカードの一体化」、「更新時講習のオンライン化」、「自動受付機」導入による利便性向上等、将来のデジタル化を見据えた基盤整備

○ 交通安全教育デジタル化推進事業 8,000千円

- ・ 「安全運転管理者講習のオンライン化」、「講習終了証明書の電子交付」の導入による「利便性向上」と「県民負担軽減」による効果的な安全教育の推進

(2) (新) 先端技術導入による業務の高度化・合理化事業 **DX** 10,620千円

先端技術の有効活用により、警察活動の更なる高度化・合理化を推進

○ 警察情報管理システムの高度化・合理化事業 6,660千円

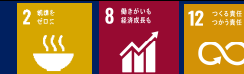
- ・ 最先端の捜査支援が可能となる次世代の「犯罪情報・情報分析支援システム」に適合した高機能端末の整備、デジタル化に伴う利用環境拡大に向けた基盤整備

○ 先端技術を活用した警察業務の効率化事業 3,960千円

- ・ 警察業務合理化・効率化のため、「RPA」や「AI議事録作成機」を導入

担当：総務課、情報管理課、刑事企画課、交通企画課、運転免許課

首都圏における「とくしまブランド」の販売拡大・強化



【令和5年度当初予算額 46,500千円】

1 目的 「大阪・関西万博」に向けて、国内外における新たな「徳島ファン」の獲得や世界に通用する「とくしまブランド」を確立するため、国際的に集客・発信力の高い首都圏において、「徳島の食」の戦略的な認知度向上を図るとともに、産地と飲食店との新たな商流構築を積極的に推進する。

2 事業内容 **(1) 新 万博に向けた「徳島の食」利用強化・拡大事業（再掲） 22,500千円**

「大阪・関西万博」に向けて、「徳島の食」の更なる認知度向上やブランド力の強化を図る。

- ・首都圏大規模イベントとの新たな連携により「とくしま特選ブランド」を軸とした「新鮮で安全・安心な県産品」を機動的に売り込む「出張マルシェ」の展開
- ・国内外のあらゆる場面で、新たなブームを巻き起こす「新グルメ」の開発

(2) とくしまブランド新商流構築事業 24,000千円

「とくしまブランド推進機構」及び「首都圏アンテナショップ」のネットワーク形成機能を活用し、首都圏における新たな商流構築を加速する。

- ・首都圏に立地する発信力の高いホテルや人気飲食店との連携拡大を通じた、「エシカル食材を活用したメニュー」の提供
- ・県産食材に関心を寄せる飲食店と意欲的な産地を結ぶリアルとオンラインによる「大規模ハイブリッド商談会」の開催
- ・消費者ニーズに沿った商品のブラッシュアップや販路開拓に挑む県内生産者に向けた、首都圏ノウハウ提供型の「伴走支援」の充実

県産材回帰による林業・木材産業の強化



【令和5年度当初予算額 221,000千円】

1 目的 不安定な国際情勢に左右されない、徳島の強い林業・木材産業を確立するため、豊富な森林資源に対応できる木材加工・供給体制の整備を進めるとともに、木材利用に秀でた人材の育成や展示効果の高い建築物や木製品開発への支援、県民主役の木育活動を展開することにより、需要の輪を広げ、県産材回帰を推進する。

2 事業内容 (1) **県産木材競争力強化対策事業** **GX** 201,500千円

大径材に対応できる木材加工施設整備の支援や、中小製材工場での相互補完による生産体制の強化モデルを構築するとともに、新設の林業・木材産業DXセンターを有効活用し、新たに製材業の人材育成策を推進する。

(2) **木造建築活性化事業** **GX** 12,500千円

県産材の更なる消費拡大を図るため、展示効果の高い建築物の内装木質化に対する支援、及び木材利用に秀でた建築士の育成、木造建築物の長寿命化に繋がる塗装による木材の耐久性の検証を行う。

(3) **木づかい県民運動定着事業** **GX** 7,000千円

県民主役の木育活動を推進するため、「とくしま木づかい県民会議」を核とした木育イベントや木づかいアワードの開催、美術館を活用した企業・団体向けの徳島ならではの木育研修の実施や、企業による魅力ある木製品の開発を支援するとともに、県内に設置されている木育広場のリニューアルを新たに進める。

「阿波おどり」を最大限活用した誘客促進



【令和5年度当初予算額 23,000千円】

1 目的 2025年「大阪・関西万博」に向け、踊り団体、関係自治体等と連携し、国内外へ「阿波おどり」の魅力を最大限に発信するとともに、安心安全なイベントの開催を支援することにより、本県が世界に誇る「阿波おどり」を核とした観光誘客を図る。

2 事業内容 **世界最高の情熱！阿波おどり体感事業（春・夏）** 23,000千円

本県への観光誘客の更なる促進や、万博に向けた機運醸成を図るため、「大阪・関西万博」と同時期に開催される、春を彩る「はな・はる・フェスタ」や夏本番の「徳島市の阿波おどり」を支援する。

○春の阿波おどり

阿波おどりや徳島の文化と食を楽しめる「はな・はる・フェスタ」の開催を支援するとともに、イベントと合わせ、万博をはじめ、本県の観光PRを実施する。

○夏の阿波おどり

国内最大級の夏のイベント「徳島市の阿波おどり」の開催に伴う、「観光客の受入体制整備」や「安心安全な運営」に必要な経費を補助するとともに、万博を見据えた効果的なPRも合わせて実施する。

DMVの魅力を世界に「はっしん」



【令和5年度当初予算額 10,000千円】

1 目 的 世界初営業運行開始1周年を迎えたDMVを国内外に強力に「発信」し、ファンを獲得するため、「2025大阪・関西万博」を好機と捉え、「徳島まるごとパビリオン」とコラボしたプロモーションを重層的に展開することで、世界から愛される存在へとDMVを「発進」させる。

2 事業内容 **⑨ もっと・ずっと大好き DMVはっしん！事業** 10,000千円

○世界中にDMVファンをつくる情報発信
 「大阪・関西万博」や「インバウンド再開」の好機を捉え、国内外からもっと多くのDMVファン、ずっと愛してくれるリピーターを獲得し、利用促進に繋がるよう、認知度向上や誘客促進に取り組み、阿佐海岸鉄道の収益力強化につなげる。

- ・ 「徳島まるごとパビリオン」との相乗効果をねらったプロモーション
- ・ DMV乗車を組み込んだ「体験企画」や、愛着を深める「情報誌」発行、「ファンクラブ会員限定イベント」等の実施

○DMVを活用した「JR牟岐線」の利用促進
 DMV乗客の主な移動手段でもあるJR牟岐線との連携により、「大阪・関西万博」を見据え、関西圏からDMVへの「道」をつくり、新たな人の流れを創出して地域公共交通の利用促進につなげる。

- ・ JR牟岐線とのコラボレーションによる鉄道ファン向け企画ツアーや誘客イベントなどの実施

未来へつなぐ！農林水産業「人材育成」の新展開



【令和5年度当初予算額 186,800千円】

1 目的 持続可能な農林水産業の実現のため、とくしま農林水産未来人材スクールを核として、次世代を担う人材の育成や、スマート農林水産業に対応したエキスパートの育成に取り組むとともに、新たに、未来の担い手であるこども達が農林水産業を身近に体感できる機会を創出する。

2 事業内容 **(1) アカデミーにおける次代を担う人材の育成 147,300千円**

新たな担い手を確保し、現場の即戦力となるよう育成するため、「農・林・水」アカデミーを核とした実践型研修の実施や、アカデミー研修生等に対し給付金を交付する制度の運用により、就業定着までを支援する。

- ・アグリビジネスアカデミー運営費
- ・とくしま林業アカデミー事業
- ・とくしま漁業アカデミー活性化支援事業
- ・とくしま漁業アカデミー運営事業

(2) ニーズに即応したスマート人材・エキスパート人材の育成 33,400千円

産業を牽引するスマート人材やエキスパート人材を育成するため、農業での環境制御や5G遠隔操作等の技術研修、林業での主伐に対応した技術者のスキルアップ、漁業での就業段階に応じた学びの場の創出など、リカレント教育の充実を図る。

- ・アグリビジネスアカデミー運営費
- ・とくしま林業リカレント支援事業
- ・人づくり革命・漁業リカレント事業

(3) ① 未来の担い手となる人材の育成 6,100千円

本県農林水産業の未来の担い手を確保するため、小学生から大学生までを対象に、アカデミーを「見て、知って、体感できる」機会を創出する。

- ・次代へ繋ぐ徳島かんきつ丸ごと体験事業
- ・徳島林業・木材産業DXセンター開設事業
- ・とくしま漁業アカデミー運営事業

担当：スマート林業課、水産振興課、経営推進課

未来へはばだけ！新たな「農業人材」確保策の展開



【令和5年度当初予算額 629,835千円】

1 目的 持続可能な本県農業の成長を実現するため、新規就農者への支援の充実、多様な農業人材確保に係る取組みなどにより、担い手対策の強化を図る。

2 事業内容 (1) **新規就農者育成総合対策事業** 604,475千円

新規就農者の一層の呼び込みと定着を図るため、就農後に必要な機械・施設等の導入を支援するとともに、就農準備段階や経営開始時の早期の経営確立を支援する資金を交付する。

- ・新規就農者へ就農後の経営発展に必要な「機械・施設等」の導入を支援
- ・就農に向けて、必要な技術を習得する「研修期間中の研修生」へ資金を交付
- ・次世代を担う農業者となることを目指し「新たに経営を開始する者」に資金を交付

(2) **次代を担う農業人材・経営体育成事業** 17,360千円

新たに農業を志す者の円滑な就農を促進するため、県内の農業法人等が研修生として雇用し実施する、就農に必要な技術習得に係る研修等を支援する。

- ・雇用する農業法人等に対して就農希望者への「研修指導費」を支援
- ⑨ 農薬取扱いの知識や農機の運転資格等、就農の際に必要な「スキル取得」を支援

(3) **「農作業シェア」で健康増進！労働力支援モデル創出事業** 8,000千円

アクティブシニアや副業希望者等の「多様な担い手」を確保するため、シルバー人材センターとの連携やマッチングアプリの活用による新たな手法を構築する。

- ⑨ シルバー人材センターと連携し、高齢者福祉施設の利用者等が農業現場へ就労する仕組みを構築するとともに、農業者との「マッチング・イベント」を開催
- ⑨ 「副業希望者」や、日常生活における「スキマ時間」と農業者をマッチングするアプリを活用することで、短時間から農業従事に着手できる環境を整備